せきなん

令和8年度　11月号
令和8年10月23日発行
武蔵野市立関前南小学校
校　長　　曾我　泉

学校ホームページ
QRコード

武蔵野市立関前南小学校ホームページ

「土俵がある学校　～関前場所～」

校長　曾我　泉

本校に土俵ができたのは昭和61年です。実は、その前から相撲がさかんに行われるようになり、工事の残土を土俵に見立てて相撲をしていた時期があるそうです。土俵ができてからは約40年。本校の特色として「関前場所」が行われてきました。先日、開校55周年記念関前場所を実施しました。多くの方にご参観いただきました。ありがとうございました。

また、多く方々にお手伝いをいただきました。

日本通運相撲部の方にデモンストレーションや審判、エキシビジョンマッチなどご支援いただきました。PTAからもたくさんの方にお手伝いいただきました。土俵周りの安全管理や受付を担っていただきました。大学生のサポーターもお手伝いや応援に駆けつけてくれました。多くの方のおかげで関前場所ができました。

土俵ができたころから関前場所には、地域の方が関わってくださっていました。関前場所が続けてこられているのは、地域の方のご協力があったからです。

関前場所当日、さわやかな晴天の下、たくさんの来賓、保護者の方に囲まれ、子供たちは勝負に真剣に取り組みました。時に応援の声に熱が入り、時に勝負の行方に歓声が上がり、時に白熱した勝負に大きな拍手が送られました。

1対1の勝負、しかもみんなに見られて行うことに、子供たちは緊張の面持ちで土俵に上がります。礼から始まり礼で終わる礼儀の大切さ、勝ちの喜び負けの悔しさ、真剣勝負のすがすがしさ、勝負に挑むことで相手を大切にすることなど、多くのことを味わいました。毎年続けることで、子供たちの成長を感じる姿もあちこちで見られました5,6年生は係活動でも活躍をしました。

今年度、校長は残念ながら出張のため多くの時間を不在にしました。しかし、不在にしていたからこそ教職員から関前場所の様子を聞くことで、関前場所の盛り上がりを感じることとなりました。

「　土俵がある学校」の特色である関前場所が、今年度も開催できたことに改めて感謝の気持ちでいっぱいです。



ひかり輝け　この広場から

【セカンドスクール　プレセカンドスクール】

9月下旬から10月にかけて、5年生はセカンドスクールで長野県飯山市に、4年生はプレセカンドスクールで山梨県に行きました。

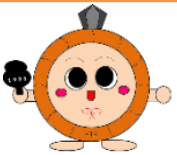
宿泊学習に対する不安感をもちながらも準備をする段階では自分のめあてを明確にし、役割について理解し、前向きに取り組もうとしている様子が見られました。そして、現地の活動では、一日ごとに自分たちで声を掛け合い、考え行動するなど、様子が変わっていきました。自立や協働、社会参画、合意形成など、体験活動を通して、子供たちは力を付けていきました。まさに、輝く関前南の子の姿です。

現地では多くの方にお世話になりました。小学生を迎え入れるための準備は、時間をかけて行ってくださっています。当日ももちろん、子供たちが安全にそしていい思い出になるようにと気を配ってくださいました。宿の方々も受け入れてくださった方々も、子供たちが充実した活動をすることで今後の生活に少しでも生かしてくれるとうれしいと言ってくださいます。実際に、学生になって指導員として参加したり、体験先にお友達と訪れ当時のことを語ったりすることがあるそうです。

子供たちは、そのような周りの人たちのあたたかさにふれながら、成長の場を得ていることを改めて感じました。

体験を通して子供たちに力を付けたい武蔵野市の思いが、多くの方々に広がり、子供たちにつながります。

子供たちの成長を温かく見守る人が多くいることに、子供たちとともに感謝の気持ちをもちながら、教育活動を進めていきます。





【開校　55周年】航空写真撮影

開校55周年を記念して「航空写真」の撮影を行いました。今回は、ドローンによる撮影でした。学校には、5年ごとの航空写真が残っています。

今回は、6年生が基本の図案を考えました。校章旗をイメージする旗とその周りには風船が飛んでいます。風船は校歌「この広場から」にも登場します。「～小さいゆめを　大きな風船に～」。みんなでつくりあげるお祝いの風船に、子供たちの夢をのせた写真の完成が楽しみです。